

- ① 新刊書の事前情報です。配本希望部数をご記入のうえ郵送またはFAXにてご連絡をお願い致します。  
希望部数を優先して配本しておりますので、必ずお申し込み下さい。  
② 委託期間内返品可 配本後到着の注文書は注文扱いにて出荷させていただきますのでご了承下さい。  
③ ★印の図書は特にご注目下さい。平積み頂ければ幸いです。  
④ 小局ホームページより、「新刊のご案内」最新号がダウンロードできます。併せてご利用下さい。

帖合・番線	部数	法政大学出版局 <b>2016年11月8日配本</b> 定価2700円(本体2500円+税) <b>大野 肅英 著</b> <b>歯</b> ★★ 人間の歴史は歯の悩みとともにあった。公家も将軍も文豪もそのつらさをこぼしている。そのため陰陽師の祈禱から口中医や入れ歯師の処置、明治期に入ってきた西洋技術など、歯科医学は進化しつづけた。著者は歯科医ならではの視点で、江戸の歯みがき事情やお歯黒のこだわり、歯ブラシと歌舞伎役者との関係、昭和期に始まった歯科軍医制度、文学ほか、多角的に紹介する。図版多数。 ☆関連書:『戦国武将を診る』(朝日新聞出版)、『日本仏教の医療史』(小局刊)など。	四六判上製・250頁 《ものと人間の文化史177》 <b>ISBN978-4-588-21771-5 C0320</b>
-------	----	--	--

帖合・番線	部数	法政大学出版局 <b>2016年11月21日配本</b> 予価28080円(本体26000円+税) A5判上製・貼箱装・1258頁 ヴィルヘルム・ディルタイ 著/森田孝・麻生建・園田坦・竹田純郎・三浦國泰 編集/校閲 《ディルタイ全集第10巻》 <b>シュライアーマッハーの生涯 下</b> 上巻の伝記的研究に続く下巻(第二巻)では、第一部でシュライアーマッハーの哲学体系が、弁証法、倫理学、国家論、美学、自然学、心理学の各領域に即して展開される。第二部ではキリスト教神学史におけるその独自の人間学的アプローチが、第三部ではプロテスタント解釈学の伝統に棹さす革新的思考が叙述される。ディルタイ精神史の浩瀚なる代表作、ついに全訳。 ☆ハイデガー、ガダマー、リクールなどにつながる、近代哲学の解釈学的伝統における最大の古典。	四六判上製・貼箱装・1258頁 《ディルタイ全集第10巻》 <b>ISBN978-4-588-12110-4 C3310</b>
-------	----	--	--

帖合・番線	部数	法政大学出版局 <b>2016年11月下旬配本</b> 定価5076円(本体4700円+税) カール・クラウス 著/池内紀 訳 <b>人類最期の日々[普及版](上)</b> 「作者は《引用》を唯一の創意とした」。——19世紀末ウィーンが生んだ異才カール・クラウスは、皇帝から亡命者に至るまで、現実に語られた膨大な言葉を織り上げ、人類未曾有の悲劇である第一次世界大戦を描き出した。上演時間10日あまり、実在の登場人物数百名という尋常ならざるこの戯曲は、血が吹き出すようなグロテスクと滑稽に彩られている。クラウスに情熱を捧げた訳者による渾身の書き下ろし解説! ☆関連書:池内紀『カール・クラウス 闇にひとつ炬火あり』講談社(講談社学術文庫)。	四六判並製・444頁 <b>ISBN978-4-588-49034-7 C0097</b>
-------	----	---	--

帖合・番線	部数	法政大学出版局 <b>2016年11月下旬配本</b> 定価4968円(本体4600円+税) カール・クラウス 著/池内紀 訳 <b>人類最期の日々[普及版](下)</b> 19世紀末ウィーンに生まれ、たった一人で闘った男がいた——。2000人の聴衆を虜にし、3万人の読者を惹きつけた孤高の諷刺家クラウスが第一次世界大戦を描いた大著『人類最期の日々』完結篇では、泥沼のような戦争が進行する中で緊張と破局の予感が高まっていく。映し出される時代の姿は、21世紀を迎えた今、人類が直面している悲劇のモデルであり続けている。上巻に続き、訳者渾身の書き下ろし解説! ☆関連書:高橋義彦『カール・クラウスと危機のオーストリア』(慶應義塾大学出版会)。	四六判並製・386頁 <b>ISBN978-4-588-49035-4 C0097</b>
-------	----	---	--

帖合・番線	部数	法政大学出版局 <b>2016年11月下旬配本</b> 定価3780円(本体3500円+税) 齋藤元紀・澤田直・渡名喜庸哲・西山雄二 編 <b>終わりなきデリダ</b> ハイデガー、サルトル、レヴィナスとの対話 <b>ISBN978-4-588-15081-4 C3010</b> ★★ 若きデリダはサルトルの書物に魅了され、高等師範学校の講師としてハイデガー講義をおこない、レヴィナス論を執筆した。デリダは彼らの思想をいかに読み、いかに論じたのか。動物、現前、実存、贈与、他者、文学、弁証法、ユダヤ性ほか現代哲学をつらぬく主題をめぐる強靱な思考を展開した四者の思想的布置を気鋭の研究者たちが考察する。デリダの講演「出来事を語ることのある種の不可能な可能性」を収録。 ☆関連書:デリダの諸著作、『ハイデガー読本』『サルトル読本』『レヴィナス著作集』(いずれも小局刊)。	A5判上製・400頁 <b>ISBN978-4-588-15081-4 C3010</b>
-------	----	--	--

帖合・番線	部数	法政大学出版局 <b>2016年11月下旬配本</b> 定価3672円(本体3400円+税) 久米雅雄 著 <b>はんこ</b> ★ オリент古代文明の印章をはじめ、シルクロードの印章、中国の印章などの歴史的展開を基底に据えつつ辿る日本の印章史。一世紀の「漢委奴国王」印、三世紀の「親魏倭王」印や古代の律令印、織豊時代のローマ字印章から歴代の「天皇御璽」「大日本国璽」、さらには「武家のはんこ」や「庶民のはんこ」まで、歴史学と考古学の知見を総合し、文献史料と実物資料をもとに印章をめぐる数々の謎に挑む。 ☆関連書:久米雅雄『日本印章史の研究』(雄山閣)、石井良助『印判の歴史』(明石書店)ほか。	四六判上製・344頁 《ものと人間の文化史178》 <b>ISBN978-4-588-21781-4 C0321</b>
-------	----	--	--

ご担当者様 氏名: [ ] 担当ジャンル: [ ] TEL: [ ] E-mail: [ ]

- \* 配本部数等で事前にご連絡する場合がございます。上覧にご担当者様氏名・TELをご記入下さい。  
\* 宛名ラベルの内容に変更がございましたらお知らせ下さい。次回以降訂正致します。  
\* 今後、新刊内容のデータ等をeメールにて配信させて頂く場合がございます。よろしければメールアドレスをご記入下さい。